

研究・イノベーション学会 第34回シンポジウム

これから30年の未来を描く

日 時： 2019年7月18日（木）13:30～17:30

主 催： 研究・イノベーション学会

対 象： 社会人・一般ならびに教職員、学生（学部生、大学院生）

会 場： 政策研究大学院大学 1階 想海樓ホール（約300名収容可）

東京都港区六本木 7-22-1

都営大江戸線：六本木駅、東京メトロ日比谷線：六本木駅、東京メトロ千代田線：乃木坂駅

会場へのアクセスは <http://www.grips.ac.jp/jp/about/access/> をご参照ください。

開催趣旨：

昨年の学会シンポジウム「SDGsを実現するためのイノベーション・エコシステム」では、科学技術・イノベーションが社会の未来に貢献するための政策課題としてSDGsに焦点を当て、SDGsを実現するためのイノベーション・エコシステムやイノベーション・マネジメントについて議論した。

今年2月に、当学会の会員に対して、注目すべき・念頭に置くべきテーマやキーワードを募集したところ、データサイエンスや人工知能（AI）、ベンチャー・スタートアップ、Well-being、MaaS（Mobility as a Service）による地域持続性の模索などを提案いただいている。

元号が「平成」から「令和」にかわり新たな時代を迎えるにあたって、上記の事項も踏まえつつ、これから30年の未来について議論したい。

プログラム：

13:00 開場・受付開始

13:30 主催者挨拶 桑原輝隆 (研究・イノベーション学会 会長)

第1部：産・学・官からの講演

13:40 講演 社会課題を解く AI 系スタートアップを中心とした新しい産官学連携

田中和哉 (東京大学松尾研究室、政策研究大学院大学 リサーチ・フェロー)

14:10 講演 社会課題解決のためのスタートアップ WOTA のこれまでの歩み

北川力 (WOTA 株式会社 代表取締役)

14:40 講演 石巻市の寄付車シェアリング —高齢化・災害多発時代に地域の支え合いを作る—

吉澤武彦 (日本カーシェアリング協会 代表理事)

15:10 講演 なぜ今デザイン経営なのか —特許庁のデザイン経営の実践から見てきたこと—

今村亘 (特許庁企画調査課 課長)

15:40 講演 持続可能な経済成長を促進するために

～企業、大学、投資家の役割とは：“Society 5.0 が実現する SDG とそれを可能にする ESG 投資”

水野弘道 (年金積立金管理運用独立行政法人 理事兼 CEO)

16:10 休憩

第2部：パネルディスカッション

16:30 パネルディスカッション (会場との質疑応答を含む)

パネリスト 今村 亘、北川 力、田中和哉、水野弘道、吉澤武彦

モデレータ 渡辺美代子 (国立研究開発法人科学技術振興機構 副理事、日本学術会議 副会長)

17:20 閉会挨拶 原山優子 (研究・イノベーション学会 副会長)

参加要領

申込方法： 研究・イノベーション学会ウェブサイト (<http://jsrpim.jp/>) からお申し込みいただけます。

参加費： 無料

申込締切： 2019年7月11日(木) 必着 (定員に達し次第、締め切ります)

参加申し込み・問い合わせ先：

研究・イノベーション学会 事務局

TEL/FAX: 03-5620-0577 E-mail: office@jsrpim.jp

〒135-8473 東京都江東区深川 2-6-11 富岡橋ビル 4F 公益財団法人未来工学研究所 気付

実行委員： 委員長 野呂高樹 (公益財団法人未来工学研究所)

(50音順) 委員 川島啓 (株式会社日本経済研究所)

白川展之 (文部科学省科学技術・学術政策研究所)

隅蔵康一 (政策研究大学院大学)

林裕子 (山口大学)

吉岡(小林)徹 (一橋大学)